

第 5 回居住性能評価指針改定小委員会 兼 第 3 回居住性能評価指針刊行小委員会 議事録（案）

A. 日 時 2016 年 10 月 12 日 水曜日 18:00～20:00

B. 場 所 建築学会会議室

C. 出席者 横山主査 他 9 名

D. 提出資料（提出委員名）

No.5-1 第 4 回居住性能評価指針改定小委員会兼第 2 回居住性能評価指針刊行小委員会
議事録案

No.5-2 第 14 回性能評価法検討 WG 議事録案

No.5-3 建築物の振動に関する居住性能評価指針（水平振動改定案）

No.5-4 鉛直振動の評価指針

No.5-5 2015 年大会梗概 40180

No.5-6 2016 年大会梗概 40218

（以下、資料番号無）

居住性能評価指針改定小委員会 2016 年度廃止申請書

居住性能評価指針改定小委員会 2017 年度設置申請書

居住性能評価指針改定小委員会 2017 年度活動計画案予算原案

居住性能評価指針改定刊行小委員会 2017 年度活動計画案予算原案

E. 議事内容

1. 前回議事録案の確認

資料 5-1 に基づき前回議事録案の確認があり、承認された。

2. 運営委員会報告

横山主査より 10 月 3 日に開催された運営委員会の内容が報告された。

- ・ 大会 PD を受けたシンポジウム WG での検討内容について確認
 - － 環境振動性能マトリックスの理解を深めるため具体例を示す内容
 - － 評価側の講演者は性能評価法検討 WG から選出

3. 性能評価法検討 WG 報告

松本（WG 主査）より資料 5-2 に基づき 9 月 26 日に開催された WG の内容が報告された。

- ・ 前回小委員会、大会 PD およびシンポジウム WG の内容を踏まえた今後の WG 活動
 - － 鉛直と水平の指針で、用語の統一、非定常的振動の評価方法の整合などの要望があり、今後の WG で検討
 - － シンポジウムでは、具体例として、風振動、歩行振動、交通振動を対象に、性能マトリックスを用いた設計について紹介。このうち、交通振動については、講演内容を決定するにあたり、さらに WG での検討が必要。検討には資料 5-3～6 などを利用予定。
- ・ WG 報告に関する主な意見交換は以下の通り
 - － シンポジウムでの振動源は、設計の立場から考えられたもの。評価指針は振動源によらず適用できるものを志向するのが合理的。その際、振動感覚の発現メカニズムに可能な限り立脚したロジックで評価指針を組み立てることが重要。
 - － 鉛直と水平の非定常的振動の評価方法の整合性については、将来的なコンパインでの評価も見据えた場合に検討すべき課題。改定案での非定常的な振動の評価基準は、上記の

WG での検討結果を踏まえ小委員会で判断.

4. 水平振動改定案について

石川委員より資料 5-3 に基づき現状での水平振動改定案が説明された.

- ・ 主な意見交換の内容は以下の通り

- － 「不快」と「不安」が同程度の反応となっていることに対し、「不安」は振動性状以外の要因の影響も受けるので指針には入れない方が良いとの意見と、例えば、風振動に対しては「不安」に基づく評価も必要なので入れた方が良いとの意見があり、今後検討を継続することとした
- － 定常的な振動と非定常的な振動の評価基準が同等となる振動数範囲と、そうでない振動数範囲との境界の扱いについて、ラップさせるべきか、区切るべきかなどの議論があり、検討を継続することとした
- － 定常的な振動と非定常的な振動の評価基準の差は、実験で用いられた波形の性状に依存しているのではないかとの意見があり、それらの波形の定量的なパラメータ（例えば、ピーク値と実効値の比）を確認することとなった

5. 今後の予定

次回委員会は、12月16日（金）18:00 から開催することとした.

以上